

モモのカイガラムシの防除適期に注意！

モモのカイガラムシ類に対する防除は、歩行幼虫を狙って薬剤散布することが重要となります。

気象庁による3月下旬及び4月上旬の平均気温は、岡山市日応寺で3月下旬：9.8℃（平年8.4℃）、4月上旬：13.2℃（平年10.9℃）、津山市で3月下旬：9.7℃（平年8.1℃）、4月上旬：13.0℃（平年10.5℃）と平年より高くなっています。また、今後1か月の予報（4月11日発表）では気温は高く推移し、ウメシロカイガラムシ歩行幼虫発生最盛期が平年（岡山市日応寺：4月6半旬）より早くなることが予想されます。今後、歩行幼虫期発生期を把握し、効果的な防除対策を取ってください。



図1 ウメシロカイガラムシが寄生した枝



図2 カイガラムシが吸汁加害した果実



図3 毛糸（左）や両面テープ（右）を設置した枝（境目に幼虫が集まり、黄色く見える）

<防除対策>

- 1 歩行幼虫発生期は、カイガラムシが寄生している枝に毛糸や両面テープを設置（図3）することで把握することができます。
- 2 発生ピーク期となったら、2～3日以内に薬剤防除を行う。
- 3 歩行幼虫が発生する前に、ワイヤーブラシ等でカイガラムシをこすり落とす。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。
アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

